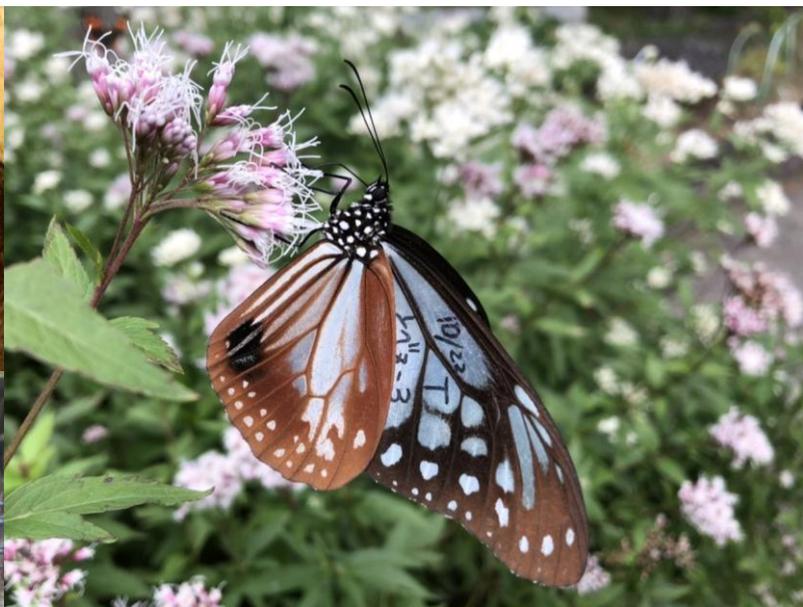


とべ動物園 2025

飼育係の研究活動報告会



2025年3月2日（日）

参加無料 定員 60名

とべ動物園ふれあいセンター2F

13:30~14:30

（開場 13:15）

「パルマワラビーの繁殖について」

松浦 友貴



「とべ動物園におけるアサギマダラの調査活動」

北本 圭一



※動物園への入園料は必要です。

※次回入園料が無料になる特別入園券をプレゼントいたします。

問い合わせ

公益財団法人 愛媛県動物園協会（愛媛県立とべ動物園）

〒791-2191 愛媛県伊予郡砥部町上原町 240

電話：089-962-6000

ファックス：089-962-6194

メール：info@tobezoo.com

パルマワラビーの繁殖について

松浦 友貴

2020年12月25日のパルマワラビー導入後、シキ(オス、2020年3月17日オランダ生まれ)とリツ(メス、2020年1月16日オランダ生まれ)との間に3例の繁殖が確認されたがいずれも生育しなかった。1例目は2021年4月27日で、育児のうから未成熟なうちに落下し低体温で死亡した。2例目は2022年2月22日に1例目同様、育児のうから未成熟なうちに落下し食害により死亡した。3例目は2022年8月12日で、袋内に胎児を確認していたがうまく生育に繋がらなかった。

そのため繁殖を目的とした対策を新たに行い、繁殖に取り組んだ。2023年10月中旬に交尾が確認され、1月30日に袋内子育てを確認した。しかし、3月8日に寝室内にて仔の落下を確認した。そのため、これまでの失敗も考慮し麻酔下にて仔を袋に戻したのち、落下防止のため袋を巾着様に縫い母親のリツを予備室に分離した。3月11日に抜糸したが仔の落下防止や害獣からの保護のため夜間は分離室に親子を収容した。4月1日に袋から足が出ているのを確認し、4月5日には顔出しを確認した。4月27日に出袋を確認し、5月9日以降は袋に戻らなくなり、成育に繋がった。5月11日からシキ(オス)との同居を行い3頭での飼育展示が可能となった。



とべ動物園におけるアサギマダラの調査活動

—2018年～2024年の調査記録—

北本 圭一



アサギマダラ *Parantica sita* は、渡りをする蝶として知られている。愛媛県立とべ動物園では、2018年から同種のマーキング調査を、そして2020年からは春季初見調査を継続的に実施している。調査では、アサギマダラを捕虫網で捕獲し、捕獲時刻、気温、天気、性別、前翅長、翅の鮮度、翅の破損状況を記録した。その後、捕獲したアサギマダラの翅に油性マジックで日付および「とべ Z-〇〇」(〇〇は通し番号)、更に標識者に割り振ったアルファベットをマーキングし、放蝶した。

春季初見調査では、その年に同種が園内で初めて確認された日を記録した。マーキング調査では、主に園内のフジバカマ花壇に飛来した個体へのマーキングや、他所でマーキングされた個体の再捕獲を行い、全国のアサギマダラ研究者と情報共有をした。

初見調査では、春季の飛来が確認されなかった2021年を除く全ての年において5月に初確認された。マーキング調査では、調査対象個体の累積識別数は84個体に上り、うち1個体は富山県から飛来したことが確認された。また1個体は当園から鹿児島県喜界島に移動したとの報告があった。

